

令和4年度地域文化支援審査会 議事録

| | | |
|------|--|-----------------------------|
| 開催日 | 令和4年7月26日(火) | |
| 開催時間 | 14時00分～15時30分 | |
| 開催場所 | 佐賀市役所本庁舎 3・2会議室 | |
| 出席者 | 委員 | 金子委員長、青木副委員長、多良委員、中村委員、北原委員 |
| | 事務局 | 木島副部長兼文化財課長、北村係長、古川、井手、井上 |
| 議 事 | <p>(1)報告事項</p> <p>○令和3年度実績報告</p> <p>(2)審査事項</p> <p>○令和4年度募集の申請内容についての審査(3件)</p> <p>1.高木瀬まちづくり協議会(高木瀬歴史散歩マップ作成)</p> <p>2.新田自治会(新田天満宮鳥居補修事業)</p> <p>3.下早自治会一班(東崎ヶ江地藏堂改修)</p> <p>【採択】</p> <p>(3)その他質疑</p> | |
| 傍聴者 | なし | |

(1) 報告事項

○令和3年度実績報告

1. 佐賀錦の古式機である板機と中台の制作と技術継承講習会
2. 「さがのみんな」絵本製作
3. 【小杭集落ふるさと小史】の発行事業
4. 巨勢町史跡案内板設置事業
5. 「八田先生記念碑」の補強事業

〈委員からの意見〉

・佐賀錦は古式機を昔ながらの形で伝承していくということで、台の制作をし、特に佐賀大学と連携した方法が、非常に珍しく他と違ってよいと思う。

・「さがのみんな」は面白いので、子供たちに絵本として残し、伝えていくことは非常に良いと思う。

・それぞれの地域で、郷土をしっかり勉強して、それを残していこうという地元の熱意があり、きちっと自分たちの歴史文化を守って伝えていくというこの活動において、この助成金制度の役割がとても効果大きいと思う。

・世代がどんどん変わっていく中で、形として残していくということは、とてもすばらしいことだと思っている。

・この助成金制度は本当に良い形で有効に活用されていると思っている。引き続きこの制度を残していただければありがたい。

◇委員

地域文化保存継承事業の申請はどのような形でPRして、申請が上がってくるのか。

◆事務局

ホームページや市報に掲載してPRをしている。

一昨年度までは市の自治会協議会で説明に行き、PRをしていたが、今年度からは、(説明に行くのではなく)自治会協議会の中で(各自治会に対して)お知らせをしていただくようになっている。地元自治会を通して、地元の方にはこの制度の周知はある程度出来ていると思っている。

(2) 審査事項

○令和4年度募集の申請内容についての審査

1.高木瀬まちづくり協議会(高木瀬歴史散歩マップ作成)

◇委員

キリシタン灯籠というのはどんなものか。

◇委員

織部灯籠、別名キリシタン灯籠という。マリアの形を彫っており、高伝寺や蓮池公園にもある。

2.新田自治会(新田天満宮鳥居補修事業)

◇委員

写真を見ると、かなりひび割れていて心配だが、補修だけで大丈夫なのか。

◆事務局

現場を見てきたが、やや小ぶりな鳥居で新田の自治会長さん自身が設計事務所の方で、そ

こはきちっと考えられていると思う。

3.下早自治会一班（東崎ヶ江地蔵堂改修）

◇委員

こういうもの（建築物の修理）まで補助対象にしたら、今後同じ様な案件がでてきて大変になるのではないか。

◆事務局

これはあくまでも地蔵の覆い屋という理解で考え、お地蔵さんを大切に祀っていこうという活動がまだ十分あるという中での申請である。

そこは地道に地元で大事にしていく活動を伴っているので、覆い屋についても改修費として補助対象でいいのではないかということで、今回提案をしている。

◇委員

わかりました。

◆事務局

あくまでも、その活動団体からの申請を受けてするもので、支援することによって、さらに地元の方たちもその活動が維持できるということに対する支援事業である。

申請があったもの全てに対して必ずしも交付するのではなく、申請後の審査の中で判断していくことになる。

【採択】

1. 高木瀬まちづくり協議会（高木瀬歴史散歩マップ作成） ➡ 採択
2. 新田自治会（新田天満宮鳥居補修事業） ➡ 採択
3. 下早自治会一班（東崎ヶ江地蔵堂改修） ➡ 採択

(3)その他質疑

◇委員

質問だが、令和元年は確か予算が180万円くらいはあった。去年が120万円で、今年100万円になっている。この辺のところ、見通しやお考えをお聞かせ願いたい。できればやはり180万円くらいの予算で、いろいろ活動ができるほうがいいと思う。

◆事務局

コロナの影響を市も財政的に受けていて、特に令和 4 年度は圧縮された予算配分の中での 100 万円という御理解をいただいて、来年度以降については、今から上げていく方向で検討する。

◇委員

予算が 20 万 1 千円余るが、どのようにお考えか。

◆事務局

上限額の 30 万円が確保出来ないということで、今回は 2 次募集をしないということで考えている。

◇委員

余りは来年度予算に積み上げたり、来年度に回したりできるよう、検討していただきたい。